

# 島津地区

## 紹介

少子化の中でも...

### にぎやかな子供たち



# 大橋区

ミニローカルを護る

## 大人の地蔵盆



子安地蔵もあるよ



網野町島津区は6つの地区に分けられた地域ですが、旧三津小学校区と併合されたものの、児童数は減少の一途です。そんな児童を対象に毎年8月23日に地蔵盆行事が行われます。島津地区数ヶ所で、昔から続く児童を護るシンボル（お地蔵さん）を供養する集まりです。仏教から伝わる風習であると言います。しかし、多くの場所で行なわれたこの行事も、児童の減少とともに島津地区内でも併合されて行きました。

島津大橋区は60戸足らずの小さな区ですが、3か所でこの地蔵盆行事を行なっています。当然、児童が少ないので近所の昔の子供たち(大人)も一緒になってひと時を楽しんでいます。数年前まで、児童がまったく居なくなった時、大人たちだけで行事を行なって（存続して）来ました。そして、今日子供が生まれ、再びこの地蔵盆を子供たちと行なっています。このようにして隣組文化を壊さず、ミニローカルのコミュニティとして継続しています。

## 児童のサイクル 島津地区

島津連合区には網野方面に「島津口」という地区(場所)があります、ここは約40年前より宅地造成されて、多くの近隣他地域から住民が移住して来られました。そのため、「島津口区」にたくさんの子供が生まれ、島津地区全体の少子化を助けたのですが、近年島津口区も高齢化が進み、事態は変わりました。

現在は、ドーナツ化になりつつあった大橋区辺りに若い世代が住み出して来られ、にぎやかな声で走り回る子供たちが増えました。



## 防災訓練に参加する大橋区民

子供さんを連れての参加が目立ちました



2016年8月28日 統一防災訓練